

事例 18 浅間山におけるイヌワシ復活プロジェクト

(中部森林管理局 東信森林管理署)



- 長野県 東信森林管理署管内 (希少種保護のため生息地が特定されないよう詳細を記載していない)
- (左) イヌワシの狩場となる皆伐跡地 (令和4年6月)
- (右) センサーカメラの設置 (令和3年11月)

長野県浅間山周辺では、かつて2つがいのイヌワシの生息が確認されていましたが、令和2年以降は雄1羽しか確認されていません。

そこで、東信森林管理署は、令和4年8月に環境省信越自然環境事務所と共同で、浅間山におけるイヌワシ保護増殖事業実施計画（浅間山イヌワシ復活プロジェクト）を策定しました。この計画は、国指定浅間鳥獣保護区に位置する国有林野内において、主伐や列状間伐などの森林施業を進めることで、イヌワシの狩場となる開放空間を創出するとともに、餌動物の生息状況のモニタリングを行うことで、浅間山周辺でのイヌワシのつがい形成と繁殖につなげることを目標としています。取組の実施に当たっては、地元で長年イヌワシの研究と保全に取り組む長野イヌワシ研究会及びイヌワシの採餌環境改善に取り組む日本自然保護協会と連携して行うこととしています。

令和4年度は、国有林野内の主伐箇所、信越自然環境事務所が設置したセンサーカメラにより、餌動物の生息状況の調査等が行われました。

引き続き、関係機関と連携しつつ、浅間山周辺の国有林野において、主伐や間伐など森林施業を適切かつ積極的に実施することで、イヌワシの採餌環境の改善に取り組んでいきます。